



エコアクション21
認証・登録番号0002584

環境活動レポートVIII

対象期間 平成27年8月～平成28年7月
作成日 平成28年9月12日



株式会社サイトー
長野県東御市新張 2087

環境活動レポート目次

1	事業概要	1P
2	許可内容及び取り扱い廃棄物 ① 許可内容 ② 許可業種ならびに種類 ③ 取扱い産業廃棄物	2P
3	環境方針	3P
4	処理能力 ① 中間処理能力 ② 収集運搬車両 ③ 産業廃棄物処理フロー	4P
5	保管能力	5P
6	環境活動組織	6P
7	平成27年7月期の環境活動目標・計画・重点施策	7P
8	平成28年7月期環境実績及び評価	8P
9	平成26年7月期～28年7月期までの3ヵ年実績	9P
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び	10P
11	違反・訴訟の有無	11P
12	平成29年7月期の環境活動計画（重点施策）・目標	12P
13	代表者による評価と見直し	13P
14	平成28年7月期の環境活動計画・目標	14P

1、事業概要

事業者名	株式会社 サイト一
設立年月日	平成13年7月27日
資本金	1,000万円
代表取締役	齋藤春善
所在地	
本社	〒389-0501 長野県東御市新張2087
上田営業所	〒386-0002 長野県上田市住吉1389-イ-1
ソーラー事業	〒389-0506 長野県東御市祢津字東前橋2-7
環境管理責任者及び連絡先	
責任者	齋藤智秋 (廃棄物事業部 事業部長)
TEL	0268-63-6701
Fax	0268-63-6725
E-mail	info@53-no-saito.com
HP	http://53-no-saito.com
事業活動内容	
一般廃棄物収集運搬	古物商
産業廃棄物収集運搬	金属屑商
産業廃棄物中間処理	フロン回収
一般廃棄物処分業	解体工事業
ソーラー事業	飼料製造業
事業規模	
売上高 (25年8月期)	264,182千円
従業員数	18名
床面積	5943.99m ²
積替保管面積	696.15m ²
積替保管上限	904.41m ³
圧縮梱包処理能力	193.6t/日
減容固化処理能力	70kg/h

2、許可内容及び取り扱い廃棄物

① 許可内容

許可種類	許可行政	許可番号	許可期限
産業廃棄物処分業許可	長野県	2021037561	平成26年11月16日～平成31年11月15日
産業廃棄物収集運搬業許可	長野県	2011037561	平成28年2月23日～平成33年2月22日
産業廃棄物収集運搬業許可	群馬県	1000037561	平成26年 1月 6日～平成31年1月5日
	石川県	1708037561	28年7月廃止
一般廃棄物収集運搬業許可	上田市	1006	平成28年4月1日～平成30年3月31日
一般廃棄物収集運搬業許可	小諸市	615	平成27年3月16日～平成29年3月15日
	東御市	26-509-6号	平成27年7月4月1日～平成29年3月31日
	青木村	—	平成25年10月18日～平成29年10月17日
	坂城町	47-14	平成28年4月1日～平成30年3月31日
	長和町	—	平成26年10月1日～平成29年9月30日
	千曲市	2056	平成28年4月1日～平成30年3月31日
	軽井沢町	254	平成26年11月25日～平成28年11月24日
古物商	長野県	481100100001	平成27年～平成30年
金属屑商	長野県	481101280003	平成27年5月14日～平成30年5月13日
第一種フロン類回収業者	長野県	2010142	平成24年4月13日～平成29年4月14日
飼料製造業		—	平成27年4月1日～平成29年3月31日
一般廃棄物処分業	東御市	東御市指令 25-3-6号	平成27年4月1日～平成29年3月31日
建設業の許可票	長野県	長野県指令25 建政第2-188号	平成25年11月25日～平成30年11月24日

② 許可業種ならびに種類

- ・中間処理許可（減容個化、圧縮梱包）
- ・減容個化する産業廃棄物 廃プラスチック類（ハッポウスチロールに限る）
- ・圧縮梱包する産業廃棄物 廃プラスチック・金属屑（特管物以外）
- ・紙屑・木屑・繊維屑

③ 取扱い産業廃棄物

収集運搬		中間処理
燃え殻	繊維くず	廃プラスチック
汚泥	動食物残渣	紙くず
廃油	ゴムくず	木くず
廃酸	金属くず	繊維くず
廃アルカリ	ガラス陶磁器	金属くず
廃プラスチック	コンクリートくず	
紙くず	鉱さい	
木くず	ガレキ類	
ばいじん		

3、環境方針

環境経営方針

当社は産業・一般廃棄物の収集運搬処理を行うに当たり、環境への影響を少なくすることを考慮し、環境経営を推進する。

- 1、当社が営む事業活動の中で以下の項目について環境の保全と汚染予防に取り組む。
 - ① 二酸化炭素の排出を減らす。
 - ② 分別を徹底しリサイクルの確保する。
 - ③ 現在ある資源を大切にする。
 - ④ グリーン購入に取り組みます。
- 2、エコアクション21に則り継続的改善を図る
- 3、環境関連の法律、規制、協定書などを遵守する。
- 4、技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を制定し環境保全に取り組む。
- 5、この環境方針は、全従業員に周知徹底すると共に社内外に公開します。

平成19年4月26日 制定
平成20年8月 1日 改訂
平成25年5月20日 改訂

平成28年9月5日
株式会社 サイトー
代表取締役社長 齋藤春善

4. 処理能力

① 中間処理能力

圧縮梱包施設		減容個化施設	
許可品目	処理能力	許可品目	処理能力
廃プラスチック類	8.0 t/日	ハッポウスチロール	560kg/日
紙屑	60.0 t/日		
木屑	32.0 t/日		
繊維屑	22.4 t/日		
金属屑 (特管物以外)	71.2 t/日		
合 計	193.6 t/日	合 計	560kg/日

② 収集運搬車両

用途別車種	積載量	台数	用途
塵芥車	4 トン	6 台	紙屑・廃プラ等の運搬
塵芥車	3 トン	2 台	
塵芥車	2 トン	2 台	
アルミバン車	20 m ³	3 台	廃プラ等の運搬
ユニック車	3 トン	1 台	金属くず等の運搬
アームロール車	8 m ³	2 台	木くず・ガレキ等の運搬
アームロール車	16 m ³	1 台	
ウイング車	4 トン	1 台	缶・ビン等の運搬
合 計		18台	

③ 産業廃棄物処理フロー



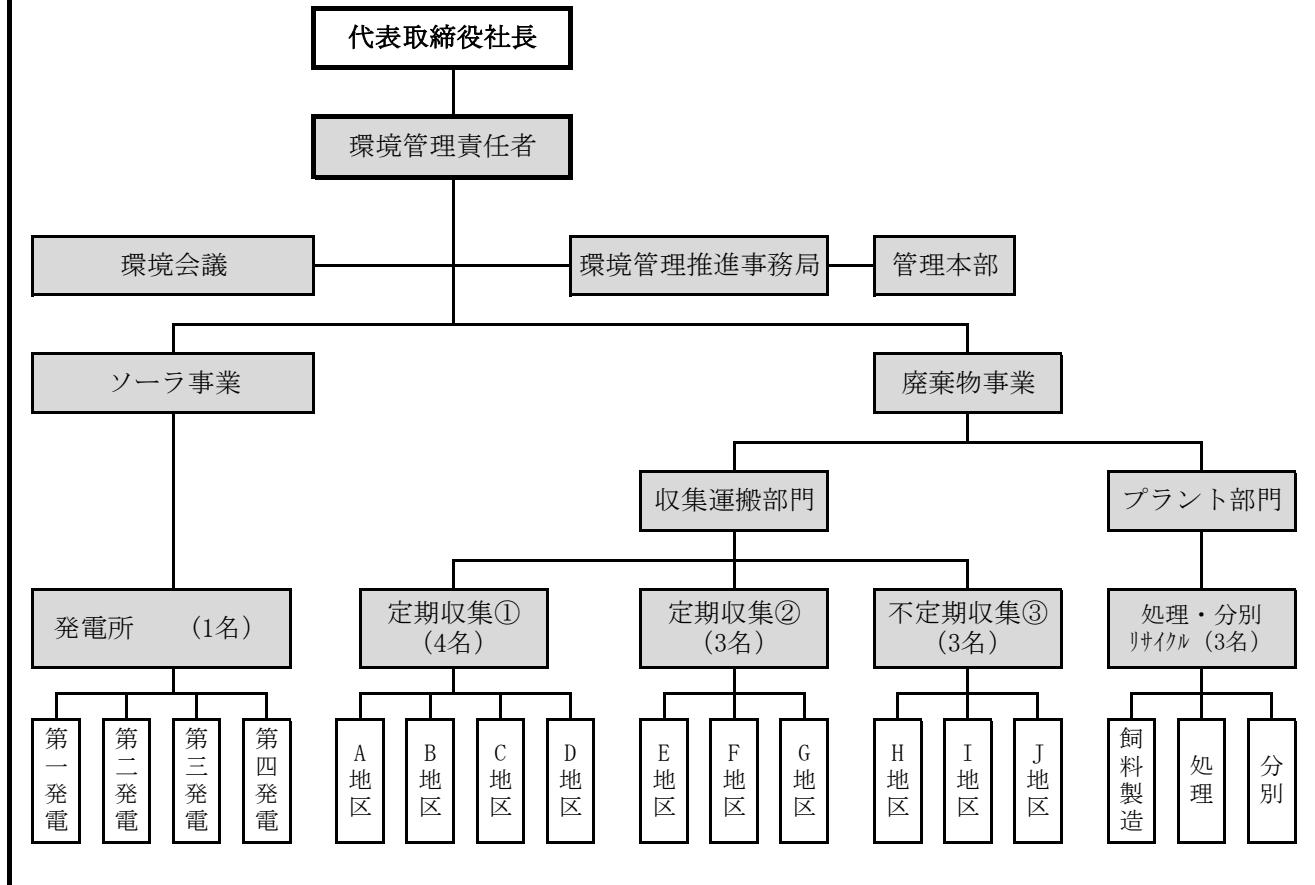
5. 保管能力

工場名	分類	品 名	積替保管面積 (m ²)	積替保管上限 (m ³)	図面番号
第一工場	積保	金属くず	13.38	10.00	D5
		ガラス陶磁器	13.38	10.00	D6
		動植物性残渣	4.41	5.00	D7
		動植物性残渣	3.15	2.00	D8
		廃酸	2.50	1.20	D9
		廃アルカリ	2.50	1.20	D10
	処分	金属くず (処理前)	25.68	16.00	12
		金属くず (処理後)	25.68	16.00	13
		廃ハッポウ (処理前)	4.00	0.66	14
		廃ハッポウ (処理後)	4.00	8.00	15
第二工場	積保	木くず	25.68	20.00	D1
		石膏ボード	10.92	8.00	D2
		燃えがら	9.88	7.80	D3
		ガラス陶磁器	9.88	7.80	D4
	処分	廃プラスチック (処理前)	51.84	64.00	1A
		廃プラスチック (処理前)	64.80	94.00	1B
		廃プラスチック (処理後)	36.00	108.00	2A
		廃プラスチック (処理後)	12.00	36.00	2B
		プラスチック&紙混合物	72.00	216.00	3
		紙くず	21.84	16.00	4
		紙くず	12.00	36.00	5
		廃ダンボール	24.00	15.75	6
		廃ダンボール	4.00	12.00	7
		木くず	11.52	8.00	8
		木くず	4.00	12.00	9
		繊維くず	5.76	4.00	10
		繊維くず	1.00	1.00	11
第三工場	積保	混合廃棄物	57.87	40.00	U 1
		木くず	54.60	40.00	U 2
		ボード	11.70	8.00	U 3
		ガレキ類	21.84	16.00	U 4
		ガレキ類・ガラス陶磁器 (石綿含有産業廃棄物)	10.92	8.00	U 5
		ガラス・陶磁器くず	10.92	8.00	U 6
		紙くず	26.25	24.00	U 7
		廃プラ	26.25	24.00	U 8
		合 計	696.15	904.41	

6、環境活動組織

平成28年8月1日現在

エコアクション21組織図



推進部署名	推進にあたり主な役割内容
代表取締役社長	環境方針・環境目標の作成
	環境管理責任者の任命
	実績の確認と評価
	経営資源の予算の検討
環境管理責任者	環境経営システムの確立、実施、維持
	社長へ環境管理システムの実績報告
	各部署への運用システムの徹底
	目標に対する進捗状況の把握と代表者への報告
環境管理推進事務局 (管理本部)	各環境目標に対する関連資料の作成
	目標に対する進捗状況の把握と環境管理責任者への報告
	環境レポートの作成
	マニフェスト・契約書・許可証の確認
廃棄物事業部	車両整備・許可証等の確認
	産業廃棄物処理実績・収集運搬実績報告書の作成
	燃料の削減に取り組む
	衛生管理に取り組む
処理工場	処理量と出荷量の管理と記録
	許可に基づく廃棄物の保管場所の管理
	処理に伴う悪臭・騒音・振動等の管理
	重機等の整備確認

7、平成28年7月期の環境活動目標・計画・重点施策

事業規模の拡大や縮小及び取扱い廃棄物の影響で燃料や電力・水の資源の使用量は変化するので、年間合計数量での比較では改善できたかどうかの評価はあまり参考にならない。①25年度より1トン当たりの収集運搬や処理・加工に使用した燃料・電気・水の使用量を算出し、その数値（削減率）が目標に対しどの位改善できたかで評価する基準に変更し、今期も同様の内容で推進していく。②リサイクル率は従来通り、総処理数量に対するリサイクル数量の割合で算出

環境目標設定項目	目標値の設定基準	28年7月期目標値	重点施策	対象事業部署
CO2の排出量の削減	廃棄物1トンを収集運搬・中間処理するのにどれ位のCO2を排出したか	前年度実績の0.5%ダウン	廃棄物収集運搬に関わる軽油使用量の削減 廃棄物中間処理に関わる軽油・灯油使用量の削減 廃棄物中間処理に関わる電気使用量の削減	全部署
電気使用量の削減	廃棄物1トンを中間処理するのにどれ位の電気を使用したか	前年度実績の0.5%ダウン	事務管理のレベルアップを図り残業（夜間業務）を削減する。 休憩時間中のパソコン等、必要のないものは、電源を切る。 事務所内のエアコンや暖房等の適正な温度管理を行う。	プラント部署 管理本部
軽油使用量の削減	廃棄物1トンを収集運搬するのにどれ位の燃料（軽油）を使用したか。	前年度実績の0.5%ダウン	GPSデータで個人別の運転特性を把握し、省エネ・安全運転に対する個別指導を強化する 収集ルートの見直しを行い、無駄な走行をなくし収集運搬効率を高める エコドライブ講習会の実施を行い、省エネ運転の技術アップと安全運転の意識を高める。	収集運搬部署
重機燃料の削減	廃棄物1トンを中間処理するのにどれ位の燃料（軽油）を使用したか	前年度実績の0.5%ダウン	アイドリングストップに心がける。 無駄な空ぶかしをしない 必要のないときは、ライトを消す。	プラント部署
水使用量の削減	廃棄物1トンを中間処理するのにどれ位の水を使用したか	前年度実績の0.5%ダウン	節水に心がける。 クーリングタワーの水漏れ等がないかを確認する。	プラント部署
リサイクル率のUP	廃棄物処理総数量の内どれ位のリサイクルしたか	前年度実績の5%UP	分別の作業要員を増やす（シルバー人材の活用） 排出事業者様にも廃棄物の選別を高めて頂くように要請する 分別作業の工程を見直し効率を高める	プラント部署
化学物質	対象となる化学物質はない。			全部署
グリーン購入	グリーン購入は、コピー用紙で行っている。			管理本部

8、 平成28年7月期・環境実績及び評価

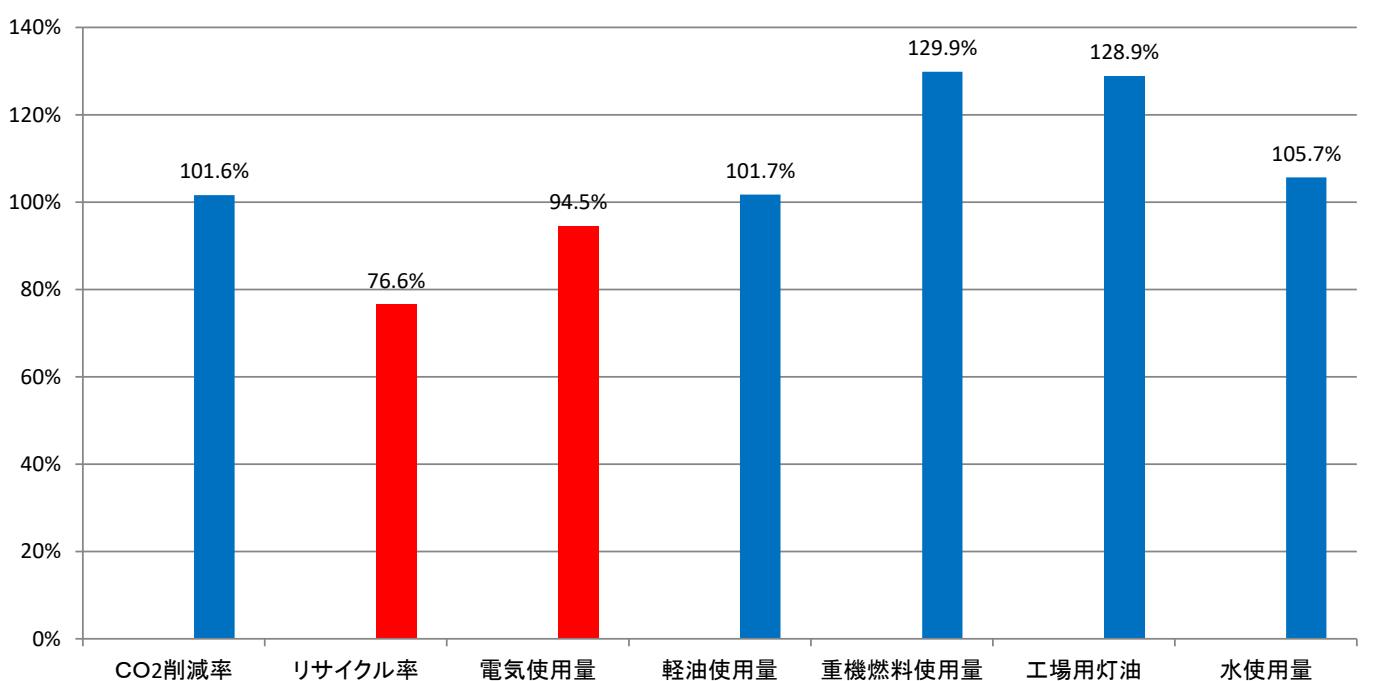
環境目標設定項目	対比較	前期実績		今期目標		今期実績			評価	
		26/8月～27/7月		27年8月～28年7月		27年8月～28年7月				
		実績	UP率	目標		実績	前年比	達成率		
収集運搬総数量 (t)		6,056				5,602	92.5%			
中間処理数量 (t)		3,802				3,365	88.5%			
リサイクル数量合計 (t)		2,524				2,003	79.4%			
リサイクル率 (%)	総数	41.68%		5.0%	46.68%	35.8%	85.8%	76.6%	×	

環境目標設定項目	比較数量	前期実績		今期目標		今期実績				評価	
		26/8月～27/7月		27年8月～28年7月		27年8月～28年7月					
		実績	1t当たり	削減率	1t当たり	実績	1t当たり	前年比	達成率		
CO2排出量 (Kg-CO2)	総数量	282,970	46.726	▲0.5%	46.492	256,435	45.7756	98.0%	101.6%	○	
電気使用量 (Kwh)	中間処理数量	49,609	13.048	▲0.5%	12.983	46,222	13.736	105.3%	94.5%	×	
軽油使用量 (l)	総数量	84,422	13.940	▲0.5%	13.871	76,411	13.640	97.8%	101.7%	○	
重機燃料使用量 (l)	中間処理数量	5,853	1.539	▲0.5%	1.532	3,969	1.179	76.6%	129.9%	◎	
工場用灯油 (l)	中間処理数量	2,973	0.782	▲0.5%	0.778	2,031	0.604	77.2%	128.9%	◎	
水使用量 (m³)	中間処理数量	54	0.0142	▲0.5%	0.0141	45	0.0134	94.2%	105.7%	○	

中部電力、2012年度、二酸化炭素実排出係数0.516-CO2kwh/を使用
達成率の式は、(目標値/実績値×100)で算出

解体工事の実績は、民間で1件ありました。

環境目標に対する達成率

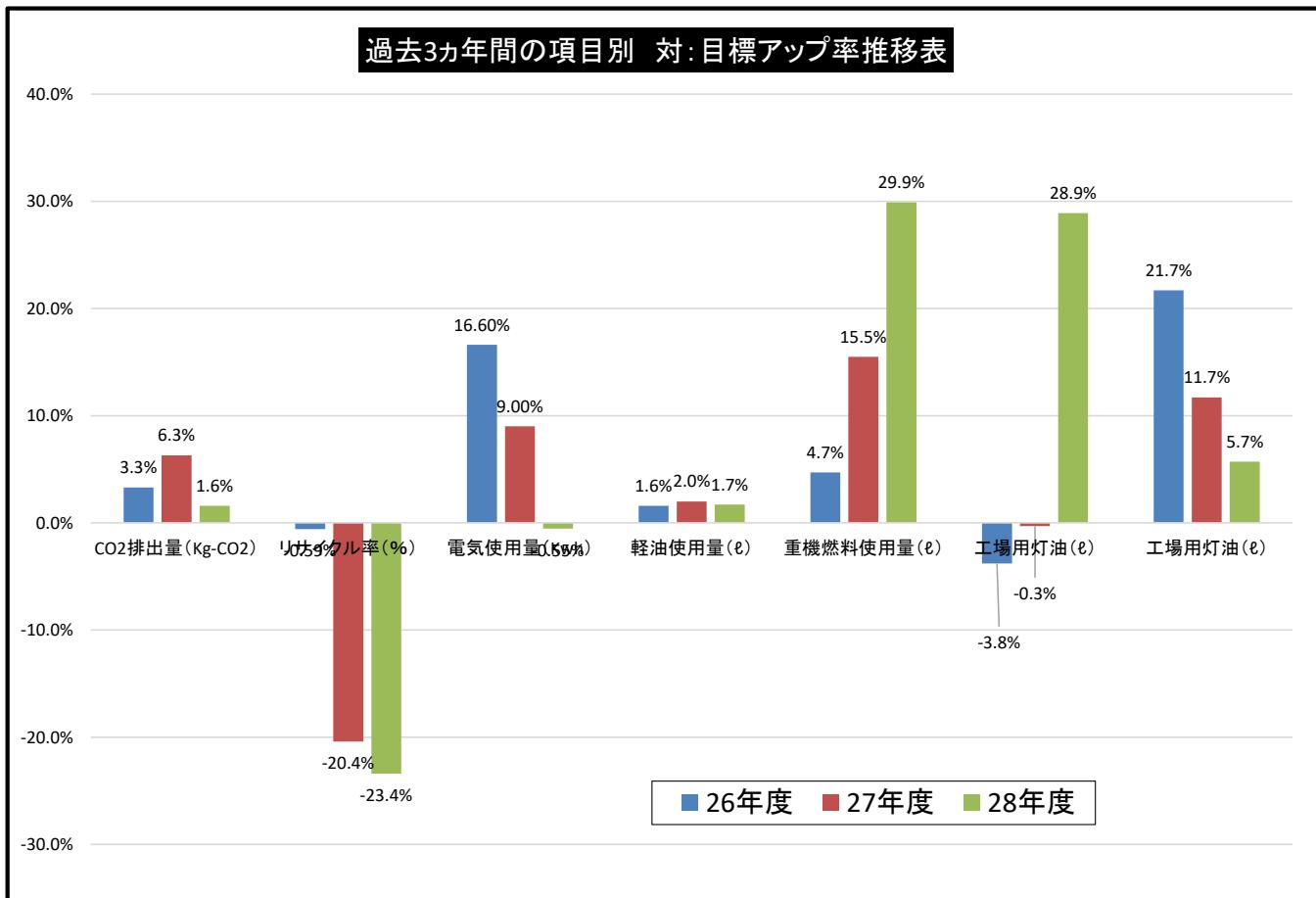


8-① 過去3ヵ年の目標達成率推移表

環境目標設定項目	25年7月期		26年7月期			27年7月期			28年7月期				
	実績	実績	前年比	目標値	達成率	実績	前年比	目標値	達成率	実績	前年比	目標値	達成率
収集運搬総数量(t)	5,298	5,421	102.3%			6,056	111.7%			5,602	92.5%		
中間処理数量(t)	3,362	3,623	107.8%			3,802	104.9%			3,365	88.5%		
リサイクル数量合計(t)	2,731	2,731	100.0%			2,524	92.4%			2,003	79.4%		
リサイクル率(%)	51.5%	50.4%	97.7%	53.5%	94.1%	41.7%	82.7%	52.4%	79.6%	35.8%	85.8%	46.7%	76.6%

環境目標設定項目	比較数量	26年度			27年度			28年度			目標値	達成率		
		実績		目標値	達成率	実績		目標値	達成率	実績				
		合計	1t当り			合計	1t当り			合計	1t当り			
CO2排出量(Kg-CO2)	総数量	270,519	49.902	51,560	103.3%	282,970	46.726	49,653	106.3%	256,435	45.776	46,492	101.6%	
電気使用量(Kwh)	中間処理数量	51,766	14.288	16,659	116.6%	49,609	13.048	14,217	109.0%	46,222	13.736	12,983	94.5%	
軽油使用量(℥)	総数量	77,491	14.295	14,518	101.6%	84,422	13.940	14,223	102.0%	76,411	13.640	13,871	101.7%	
重機燃料使用量(℥)	中間処理数量	6,472	1.786	1,871	104.7%	5,853	1.539	1,777	115.5%	3,969	1.179	1,532	129.9%	
工場用灯油(℥)	中間処理数量	2,838	0.783	0.753	96.2%	2,973	0.782	0.779	99.7%	2,031	0.604	0.778	128.9%	
水使用量(m³)	中間処理数量	87	0.032	0.039	121.7%	54	0.021	0.024	111.7%	45	0.013	0.014	105.7%	

中部電力、2012年度、二酸化炭素実排出係数0.516—CO2kwh/を使用
達成率の式は、(目標値÷実績値×100)で算出



10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟の有無

環境管理責任者及び斎藤春善が、以下の関連法規に関し精査した結果、現在及び過去3年間違反・訴訟等の無いことを確認しました。また、近隣地域から異臭・騒音等のクレームもないことも確認できました。

＜環境関連法規等の取りまとめ＞

法令・条例の 要求事項名	設置・作成・届出等	届出機関	適用内容又は規制値	必須項目等
産業廃棄物の収集	契約書の締結		収集運搬者は許可書の写し・マニフェストの携帯	遵守評価においての記録等
	契約書への許可書の添付		収集運搬者は契約書の確認	遵守評価においての記録等
	マニフェストの交付		廃プラスチック収集時・必要とされるものに対し1点1枚の交付	遵守評価においての記録等
産業廃棄物の排出	マニフェストの期間内返却 E表・D表	長野県地方事務所	90日又は180日以内	遵守評価においての記録等
産業廃棄物の排出	マニフェストの保管	長野県地方事務所	5年間	遵守評価においての記録等
産業廃棄物の保管	保管施設の表示と保管基準の遵守	保健所	飛散防止	保管場所の現場確認
		保健所	流出・地下浸透・悪臭・害虫発生等の防止	保管場所の現場確認
		保健所	保管施設の表示板の掲示	保管場所の現場確認
一般廃棄物収集運搬車両の届け出	第7条2-3項	市町村・地方事務所	車両変更・追加・廃車時点での届け出	変更届
産業廃棄物の排出	産業廃棄物処理委託契約書の保管		全期	保管場所の現場確認
産業廃棄物の排出	収集運搬者及び処分業者との委託契約		全期	保管場所の現場確認
産業廃棄物の排出	産業廃棄物処理実績報告書作成	長野県地方事務所	毎年3月を以って記録提出	保管場所の現場確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬許可証	各市町村	車両変更・追加・廃車時点での届け出	変更届
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物処分業許可証	各市町村	車両変更・追加・廃車時点での届け出	変更届
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会	日本産業廃棄物処理振興センター	許可更新には講習会の修了証が必要	許可申請

法令・条例の 要求事項名	設置・作成・届出等	届出機関	適用内容又は規制値	必須項目等
建設リサイクル法	建築物の解体工事事前届書	・上田市の場合上田市役所 ・東御市、長和町、青木村の場合上小地方事務所建築課	着手7日前	遵守評価においての記録等
大気汚染防止法	アスベスト含有建材使用建築物解体工事届出書		着手7日前	遵守評価においての記録等
建築基準法	建築物除却届	着手前	遵守評価においての記録等	
労働安全衛生法	建設工事計画届	労働基準監督署	着手14日前	遵守評価においての記録等
家電リサイクル法	日本郵便より購入		リサイクル券の携帯	遵守評価においての記録等

<適用法令・条例>

平成28年8月1日

法令・条例	設置・作成・届出等	届出機関	適用内容又は規制値	届日又は担当管理者
水質汚濁防止法	事業場からの公共用水域への排出、及び地下水への浸透の規制		廃棄物の雨水による油濡れ 防止油水マット設置	以降2年の間に浄化槽設置予定
大気汚染防止法	収集運搬車		CO ₂ の排出を減らす	車両管理者
道路運送車両法	収集運搬車	警察署	交通法規の遵守	車両管理者
労働安全衛生法	安全衛生年間計画書	労働基準局	業務中の事故の回避	安全衛生推進者
消防法	灯油 400L	東御消防署	消防署への届け出	平成19年9月18日
	軽油 810L	東御消防署	消防署への届け出	平成23年1月20日
	指定可燃物 6か所	東御消防署	上田地域広域連合火災予防条例51号	平成23年1月20日
計量法	デジタルロードセル指示計DI-1500		法に基づく適正な処理	平成25年7月7日
東御市条例	東御市環境を良くする条例	東御市	法に基づく適正な処理	現場管理者
建設業法	長野県知許可 (般-25) 第24642号	長野県	建設業法第3条第1項の規定に基づく	平成25年11月25日

11. 平成29年7月期の環境活動計画（重点施策）・目標

前年度同様に下表の設定基準を設け、新たな目標値を掲げ環境活動を積極的に推進していく。

環境目標設定項目	目標値の設定基準	28年7月期目標値	重点施策	対象事業部署
CO2の排出量の削減	廃棄物 1 トンを収集運搬・中間処理するのにどれ位のCO2を排出したか	前年度実績の0.5%ダウン	廃棄物収集運搬に関する軽油使用量の削減 廃棄物中間処理に関する軽油の削減 廃棄物中間処理に関する灯油の削減 廃棄物中間処理に関する電気使用量の削減 ※化石燃料を使用して創出されたエネルギー使用量の削減（トン当たり0.5%の削減）	全部署
電気使用量の削減	廃棄物 1 トンを中間処理するのにどれ位の電気を使用したか	前年度実績の0.5%ダウン	事務管理・工場分別作業の効率アップを図り残業（夜間業務）を削減する。 休憩時間中のパソコン等、必要のないものは、電源を切る。 事務所内のエアコンや暖房器具等の適正な温度管理を行う。	プラント部署 管理本部
軽油使用量の削減	廃棄物 1 トンを収集運搬するのにどれ位の燃料（軽油）を使用したか。	前年度実績の0.5%ダウン	G P S データで個人別の運転特性を把握し、省エネ・安全運転に対する個別指導を強化する 収集ルートの見直しを行い、無駄な走行をなくし収集運搬効率を高める エコドライブ講習会の実施を行い、省エネ運転の技術アップと安全運転の意識を高める。	収集運搬部署
重機燃料の削減	廃棄物 1 トンを中間処理するのにどれ位の燃料（軽油）を使用したか	前年度実績の0.5%ダウン	アイドリングストップに心がける。 無駄な空ぶかしをしない 必要のないときは、ライトを消す。	プラント部署
水使用量の削減	廃棄物 1 トンを中間処理するのにどれ位の水を使用したか	前年度実績の0.5%ダウン	節水に心がける。 クーリングタワーの水漏れ等がないかを確認する。	プラント部署
リサイクル率のUP	廃棄物処理総数量の内どれ位のリサイクルしたか	前年度実績の2%UP	分別の作業要員を増やす（シルバー人材の活用） 排出事業者様にも廃棄物の選別を高めて頂くよう要請する 分別作業の工程を見直し効率を高める	プラント部署
化学物質	対象となる化学物質はない。			全部署
グリーン購入	グリーン購入は、コピー用紙で行っている。			管理本部

環境問題（CO2削減）に対する取り組みとして、太陽光発電の事業に着手。今後、長期間に亘りクリーンエネルギーを創出し、CO2の削減を通じ社会に貢献する。

	設置場所	稼働状況
第一発電所	長野県東御市	2013年7月稼働開始
第二発電所	長野県東御市	2014年7月稼働開始
第三発電所	長野県北佐久郡御代田町	2015年9月稼働開始
第四発電所	長野県北佐久郡御代田町	2015年9月稼働開始
第五発電所	長野県東御市	2016年9月稼働開始
第六発電所		2017年4月稼働予定

13、 代表者による評価と見直し

エコアクション21の大目標である二酸化炭素の削減目標値は、26年度から今期まで3期連続で達成できた。①収集運搬ルートの見直しを行い配送効率がアップしたことや、②収集廃棄物の整理整頓の徹底による工場内の無駄な移動作業の低減 ③収集運搬車両2台・重機2台の新車入れ替え等で、軽油の使用量が大幅に削減できたことが要因。（工場内の使用数量 前年比67.8%・収集運搬での使用数量 前年比89.1%）

一方、エコアクション21のもう一つの大目標である、「再資源化（リサイクル率のアップ）」は、未達成に終わり大幅にダウンしてしまった。最大の要因は、従来、動植物残渣を家畜の飼料に加工して販売していたが、販売先（養豚農場）の事業縮小や諸事情により加工・販売ができなくなったことが最大の要因である。（前年度245.6トン・今期24.1トン・差額▲221.5トン）

また、人員不足による選別作業の低下は、従業員の新規採用で解決できたが、収集運搬数量で最も多い紙類の排出量の減少したことも影響した。

紙類は、前期収集数量2245トン・資源化数量1429トン・リサイクル63.6% →今期収集数量1738トン・資源化数量1155トン・リサイクル率66.4% 差額=収集数量▲507トン・資源化数量▲274トン・リサイクル率66.4%・リサイクル率+2.8%

電気の使用量は、年間で3387KWの削減をすることができたが、収集運搬総数量が454トンの減になり、1トン当たりの使用量では目標より0.75KWの増加になり未達成となった。その他、軽油使用量・重機燃料使用量・工場用灯油使用料・水使用量等は、目標を達成することができた。

関連法規の遵守においては違反やクレームもなく、業務を遂行することができました。今後も継続的に社内の勉強会や研修等を行い、内部統制機能を高めた経営を推進していきます。

また、交通事故もなく、任意保険の優割率もMAX状態が継続されている。今期より「自動車安全センター」より「運転記録証明書」を取り寄せ、事故・違反者のあった従業員には注意を促し、「過去1ヵ年間、無事故・無違反者」には報奨金を支給し、最も身近な交通法規を通じ、法令に対する遵法意識を高めています。今後も継続的に実施していきたいと思います。

弊社ではエコアクション21の活動とは別に、間接的な活動として太陽光発電の事業にも取り組んでおります。今期末で合計4発電所（250KW）が稼働し、エコアクション21の活動ではありませんが、クリーンエネルギーの創出と云う形でCO2の削減に繋げ、社会に貢献していきたいと思います。

エコアクション21の「会社として取り組む目的（意義）」に対する社員の意識レベルや理解度は大分高まってきたと実感できますが、引き続き教育指導を強化していきます。

平成28年9月26日

14、29年7月期環目標値

環境目標設定項目	27年度実績	28年度実績	29年度目標		
	26/8月～27/7月	26/8月～27/7月	27年8月～28年7月		
	数量	数量	UP率	目標	前年比
収集運搬総数量(t)	6,056	5,602			
中間処理数量 (t)	3,802	3,365			
リサイクル数量合計 (t)	2,524	2,003			
リサイクル率 (%)	41.68%	35.76%	2.0%	37.76%	105.6%

環境目標設定項目	27年度実績		28年度実績		29年度目標		
	26/8月～27/7月		26/8月～27/7月		27年8月～28年7月		
	使用量	1t当り	使用量	1t当り	UP率	目標	前年比
CO2排出量 (Kg-CO2)	282,970	46.726	256,435	45.776	▲0.5%	45.547	99.5%
電気使用量 (Kw)	49,609	13.048	46,222	13.736	▲0.5%	13.667	99.5%
軽油使用量 (ℓ)	84,422	13.940	76,411	13.640	▲0.5%	13.572	99.5%
重機燃料使用量 (ℓ)	5,853	1.539	3,969	1.179	▲0.5%	1.174	99.5%
工場用灯油 (ℓ)	2,973	0.782	2,031	0.604	▲0.5%	0.601	99.5%
水使用量 (m³)	54	0.014	45	0.013	▲0.5%	0.013	99.5%

中部電力、2012年度、二酸化炭素実排出係数0.516kg-CO2/kwhを使用

※参考 <太陽光発電目標>

第一発電所	2013年7月稼働開始	年間で56,600KW
第二発電所	2014年7月稼働開始	年間で80,000KW
第三発電所	2015年9月稼働開始	年間で60,000KW
第四発電所	2015年9月稼働開始	年間で60,000KW
第五発電所	2016年9月稼働開始	年間で60,000KW
第六発電所	2017年4月稼働予定	年間で60,000KW